

第10回

[日 時] 令和元年9月28日（土）18:30～20:30

[場 所] 百俵館 石巻市小船越字山畑343-1

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』第8-5号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●挨拶（舩田育久運営副委員長）

先日、中学校時代の同窓会で久々に会った友人たちの顔を見て、様々な生き様が刻まれていたことをお話され、塾生の皆さんが耕人塾の活動を通して自主的に取り組み、人間力を一層磨いてほしいと、激励されました。



研修は、「百俵館」と隣接する「耕人館」を利用しました。静かな環境の中で、塾生は研修を深めました。

●講師の自己紹介 ～自身の人生に触れた内容の自己紹介～

プロジェクト「I」は、「であい」と「ふれあい」と「関わりあい」の3つの「あい」＝「I」になります。2人の講師の方の生き方、考え方に触れながら真剣に話を聞いていました。

- ・ 林 貴俊 氏（石巻こけし作家）と藤間 千尋 氏（みらいサポート石巻理事）



●交流

塾生が2グループに分かれて、2人の講師から現在取り組んでいることを中心にお話をしていただき、塾生は真剣にメモをとっていました。

■石巻こけし作家：林 貴俊 氏



石巻市出身で震災前から立町にある家業の呉服店を継いでいました。当時、立町商店街を利用する客が減っており、どうにかしなければと思っている最中に震災が起きました。震災後は、観光客が増えましたが、店に来たお客さんに、「立町はお金を使うところがない」と言われ、購買意欲がある人を何とかしなければと思いました。

宿やカフェの経営なども考えましたが、山形に仕事の仕入れに行ったときに立ち寄った工芸品店でキノコのこけしを見つけて、「おもしろい」と思いました。これをヒントに、こけしに「石巻っぼさ」を

出せば、お土産になるのではと思います、独学でこけしづくりの技術を習得しました。

石巻こけしの特徴は、マリンルックの色使い、魚の模様、前髪は富士山の形になっています。人とのつながりが財産になります。失敗を恐れず、チャレンジして欲しいです。

■みらいサポート石巻理事：藤間 千尋 氏



横浜市出身です。大学院を中退し、アルバイト生活の傍ら、就職が決まるまで世界50カ国を旅しました。東日本大震災が起きたとき、高校2年生のときに起きた阪神淡路大震災で何もできなかった後ろめたい気持ちを思い出し、友達が先に石巻にボランティアで行っていたため、私は4月に石巻に来ました。

当時は、炊き出しのボランティアに来る人たちへの情報提供（使用できる浄水場の場所など）を電話を通して行っていました。また、ボランティアの基地が石巻専修大学の5号館であったため、毎日19時からボランティア同士のミーティングを行い、情報の共有を1年間続けました。

平成23年7月末に交流人口を増やしたいと地域の人に言われたことをきっかけに、仕事を辞め、同年10月に石巻に引っ越してきました。

石巻での生活も8年目。現在は震災伝承のプログラムを通して、被災地の案内、語り部活動、石巻に2ヶ所ある震災資料館の運営など、震災を伝えることをメインに仕事をしています。石巻に来て8年が経ちますが、自分は生まれ育った横浜市と石巻市しか知らないため、石巻の良さを他と比較対照できません。ただ、通勤途中で季節の移り変わりを肌で感じとることができ、仕事にやり甲斐を感じています。

●まとめ

話を聞いて感じたことをまとめ、グループの中で発表しました。また、塾生の質問に講師が回答しました。



講師の先生方には、「なぜ石巻で働いているのか」「石巻の魅力は何か」「次世代を担う中・高生に期待すること」「中高生に実践してほしいこと」を中心にお話をいただきました。

塾生からは、「何か、新しいことを始めることはなかなかできないことだ。」「ボランティアは、心の内側から沸き上がることが大切だ。」「石巻を住みやすい街にしようと、様々な形で街づくりをしているのがすばらしい。」といったことを感想にまとめました。

●講評（横江 信一運 営委員長）

今回は、2名の講師の方のお話を聴きながら、たくさんの発見があったのではないのでしょうか。塾生一人一人ができることをさらに深めてほしい、と話されました。

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

第13回「耕人塾」第8期 閉塾式

第12回

第11回

第10回

第9回 実践活動

第7・8回 宿泊研修

第6回 実践活動

第5回第4回 実践活動

第3回

第2回

第1回 開塾式

平成30年度の活動

>

平成29年度の活動

>

平成28年度の活動

>

平成27年度の活動

>

平成26年度の活動

>

平成25年度の活動

>

平成24年度の活動

報道・受賞